

和文抄録

精神科看護師の職業的自尊心と職務満足に関連性 —精神科単科の大学病院における事例研究—

順天堂大学

スポーツ健康科学研究科

学籍番号：4118060

氏名：林 英範

【目的】

本研究では、精神科看護師のバーンアウトの高さや自尊心が低いとの指摘を基に精神科看護師の職業的自尊心に焦点を当て、精神科看護師の職業的自尊心と職務満足に関連性を明らかにするとともに、その関連性から就業継続意向について検討することを目的とした。

【方法】

精神科大学病院で働く看護師に質問紙調査を実施。IBM製のSPSS(Ver25)を用いて統計分析を行った。

【結果】

有効回答数100名（女性68名、男性32名）であった。

先行研究では、自尊心は女性よりも男性に高い傾向で、本調査の職業的自尊心では女性が男性より高い結果となった。職業選択では、内的要因が男性よりも女性に高く、役割と職業イメージの違いが職業的自尊心に関連すると示唆された。

職業的自尊心は「やりがいと達成」「人間関係」、「尊敬」と相関し、精神科看護師は、「尊敬」される存在であるかを重視していると推察される。

【結論】

職業的自尊心は、自尊心よりも高い値を示し、性別や役割の違いが関連することが明らかとなった。

精神科看護師としての職業的自尊心を保ち自信や達成感を得るには「やりがい」や「達成」を見出し、職場内の「人間関係」や「尊敬」できる存在などを鍵要因とし、リテンション・マネジメントの観点から職場環境を整える必要がある。